

指定管理業務評価結果書

1 施設の名称等

(1) 公の施設の名称	奥津川ラビンの里
(2) 指定管理者	所在地 津山市奥津川867番地 名称 ラビンの里管理組合 代表者 組合長 森永 宏彰
(3) 公の施設の所管部署	農林部 農村整備課
(4) 指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日
(5) 評価対象期間	平成31年4月1日～令和2年3月31日

2 施設の利用状況

(1) 利用者数等	テントサイト 利用人数 668人 (前年度 507人) 宿泊施設 利用人数 269人 (前年度 153人) バーベキューガーデン 利用人数 1,323人 (前年度 1,285人)
(2) 事業の内容	ラビンの里の施設利用許可・運営・管理

3 収支の状況

(1) 収入 (指定管理者の収入)	総 額 5,080千円 (前年度 4,986千円) 利用料金収入 869千円 指定管理料 4,122千円 自主事業収入 89千円 その他の収入 0千円
(2) 支出 (指定管理者の支出)	総 額 5,080千円 (前年度 4,986千円) 人件費 2,858千円 光熱水費 549千円 修繕・消耗品費等 589千円 委託料 942千円 その他 142千円

4 総合評価結果

(1) アンケート調査等の概要	○ 利用者にアンケート用紙を渡して、評価・感想などを記入してもらっている。
(2) 指定管理者の自己評価	○ 利用件数と売上げは昨年と変わらないが、利用者数が少し増えているため、休憩だけの利用者が多かったと考えられる。 ○ 利用者が天候に左右されやすく、雨天の場合のキャンセルが多い。 ○ 施設の老朽化が目立ってきており、計画的に修繕をおこなっている。 ○ イノシシ・シカ・サルが出没し、対策に苦慮している。特にシカの糞の被害が大変酷く、施設内の糞の片付けに時間を要し、営業に支障をきたしている。
(3) 市の評価	○ 利用件数は昨年並みとなっているが、利用者数は昨年より若干増加している。 ○ 宿泊件数・宿泊者数について、宿泊施設は昨年より減少しているが、テントサイトは過去5年と比べても最も多い数字となっているため、利用者のニーズに合わせた積極的なPR活動を講じられたい。 ○ 施設の老朽化が進行するなか、自主的に経費を節減しながら修繕等を行っている。今後も継続的な努力に期待する。 ○ シカ等の被害については、管理者のきめ細やかな対応により、利用者からの苦情はないが、これらの侵入を根本的に防ぐ方法を研究する必要がある。